

## 「ファミリー年会」の意義と目的

### 分断から融合へ

教団代表 内山 勝



「彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。」（マラキ四・6）

罪の本質は、神との断絶であり、それは裏返せば自己中心です。その罪の結果人類にもたらされたのは、分断と対立でした。世界は民族間の紛争にずっと苦しんできました。そして、夫婦・親子関係の断絶によって、さらに家庭崩壊が進んでいます。主イエスが世の終わりのしるしとして預言された通りです。

ところで、教会に与えられた使命は、分断されたものを融合し、対立のある所に和解をもたらす神さまのご計画を実現することにあります。一人ひとりが罪から救われたなら、その恵みは個人に止まらず家庭に広がり、夫婦・親子の關係に和解と修復の恵みをもたらします。主の驚くべきみわざに心から感謝します。

\*

とはいえ現実には、教会の中にも世代間の分断が残存しているかもしれません。「最近の若い者は…」という年長者たちの嘆きや、「ああいう信仰者にはなりたくない」という青年たちの年長者への批判の声が聞こえないでしょうか。クリスチャン家庭の子どもたちが、成長と共に教会から離れて行く現象は、単に子ども個人やその家庭の問題として片付けられない、教会の体質的な問題を含んでいるかもしれません。

私たちが主に立ち返ることによってもたらされる恵みは、相互の遜りと歩み寄り、赦し合い仕え合うこと

ではないでしょうか。それは、年長者の方から始めなければならぬことです。

来年の春には「ファミリー年会」を予定しています。それは、子育て中の女性牧師たちに、参加の機会を差し上げたいということで、春休み中に神学院での開催をと企画した訳ですが、今回はせっかくの機会ですから、牧師家枠にとどめずに、教団を一つのファミリーと考えて、参加可能な「とにキャン・YS」世代の青年たちをも年会に迎え、彼らと一緒に福音を共有する恵みの聖会を開きたく願っています。

先ず牧師たちが遜って、次の世代を担っていく青年たちと真に向き合い、彼らをもっと理解し、もっと愛し、もっと仕えるための、きっかけとしたいのです。

\*

JEAでも、次世代育成・次世代宣教の必要が訴えられています。確かに、教会単位、教団単位で、次世代にしっかりフォーカスしなければ、私たちに将来はありません。しかし、それは単に戦略的な意味でということではなく、福音そのものももたらす恵みが、本質的に、分断から融合へ、対立から和解へという方向を持つものだからです。私たちが、もっとイエスさまに喜ばれる教会を目指したいのなら、親世代は子ども世代と積極的に向き合ひましょう。そうすれば、彼らも、次の世代に喜んで向き合ひ、仕えるようになるでしょう。そう信じ期待しようではありませんか。

## 目次

- 「ファミリー年会」の意義と目的……内山 勝……1
- 謝恩日聖日のお願い、東北教区北・南聖会……2
- 関東東聖会、静岡青年大会、厚生年金加入問題……3
- 海外トピックス、国内教会局、燭台……4
- YS 報告、教区主事会議、勝間田嶋子師追憶……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

# Immanuel

厚生委員会から

謝恩日聖日は9月15日です  
引退された牧師を支える  
厚生への働きのために

厚生部長 北田直人

「惜しみなく……力に応じて、また力以上に献げ、聖徒たちを支える奉仕」(IIコリント八：1～4)

●謝恩日献金のお願い  
間もなく「謝恩日聖日」を迎えます。毎年、全国の教会から謝恩日献金をお献げいただき、心より感謝いたします。

毎年100万円を目標に掲げておりますが、過去3年の献金額は  
2016年 103万円  
2017年 96万円  
2018年 91万円  
でした。各教会の経済が右下がりになりつつある中、マケドニアの諸教会のように、惜しみなく力以上に献げてくださったことを覚え、改めて感謝いたします。

引き続き、必要が満たされるようお祈りいただくとともに、謝恩日献金のためにご協力をよろしくお願いたします。

●厚生委員会報告  
6月の委員会では、認知機能低下の課題、単身女性牧師の後見人の件、これまでにないケース(配偶者が信徒の場合、教団外派遣の場合)への対応、牧師の退職金の公平化等について検討しました。

▼だれであっても、加齢に伴う認知機能の低下は避けられません。早期発見をして適切な治療を受け、環境を整えることで、奉仕や教会生活を継続することも可能です。この件に関しては、10月の委員会ですべて検討してまいります。

▼単身女性牧師の後見人の件に関しては、いろいろ考えるべき点があるのですが、どのように対処するのが適切なのか、情報提供してまいります。

▼これまでにないケースへの対応については、引き続き検討してまいります。

▼7月下旬に「今から引退に備えましょう」という文書を各教会に送付しました。ぜひ先生方と役員の方々が共に読んで話し合ってくださいたいと思います。その文書にも記されているとおり、牧師の退職金は在職期間に応じて給付され、上限は150万円です。

これとは別に、各教会において退職金を給付することは自由です(厚生部細則第29条)。すでに規定を定め、退職金の積立てを行っている教会があります。一方、経済的に余裕がなく、積立てが困難な教会もあります。このあたりをどう考え、どう提案できるか、検討し始めました。

厚生委員会の取り組みのためにお祈りください。

第45回東北聖会「北聖会」報告

聖会の共通テーマは  
「きよめを求めて」  
聖なる主に倣う生活を

盛岡教会 国光勝美

南聖会に引き続き岩上祝仁先生を講師に迎え、大湊・青森・十和田・秋田・盛岡から25名が「いの村岩手」に集まりました(7月30日～8月1日)。南北聖会共通テーマは、「きよめを求めて」で

東北聖会「南聖会」報告

主の十字架にこそ  
勝利の鍵がある!

郡山教会 久保泰昭

第45回東北南聖会(鶴岡白山山形、仙台、郡山の四教会)は、第一回以降初期の頃、開かれていた仙台・作並で講師に岩上祝仁先生(国内教会局長)をお迎えして北聖会との共通テーマ「きよめを求めて」のもと、7月28～30日に

した。▼聖会Ⅰ「生ける望みを持つています」(第一ペテロ一3～9)「生ける望み」は、(1)キリストの復活の事実にある。(2)内に生きたもうキリストへの信頼こそ生ける望みである。▼研修会Ⅱ「聖なる教会を目指して……ハラスメントを題材として」(前半は講師によるテーマ解説、後半はグループ分けディスカッション)▼聖会Ⅱ「聖なるものとして」(第一ペテロ一13～25)(1)私たちは「きよめ派」だからではなく、御子の血潮に贖われたものであるから、(2)肉の欲望、虚しい生き方をすて、(3)固定観念や偏見にとらわれず「みことばへの従順」の道を歩もう。▼派遣集会Ⅱ「宝を土の器に」(第二コリント四5～15)

開催されました。岩上祝仁先生は聖会Ⅰ、Ⅱ、派遣集会で一貫してヨハネの福音書を開かれました。第一夜Ⅱ一29～37「見よ。世の罪を取り除く神の子羊。」主の中心は十字架。それにより、罪を取り除かれる。キリストを見続けよ。第二夜Ⅱ一六33「わたしはすでに世に勝ちました。」十字架に勝利があり、主に従う中にこそ勝利がある。派遣集会Ⅱ一・15～22「ペテロの回復と派遣」失敗を通して扱われたペテロを主は回復し用いられた。特別セミナーでは「聖なる教会を目指して」と題して聖書に基づき、ハラスメントを取り上げられた。実際の経験に触れつつ語

「土の器」なる私が「宝なるキリストご自身」を入れたとき、土の器は価値ある存在となる。その宝を他の人に運ぶ者となろう。



られる各集会のメッセージに一同心を探られ、扱われ恵まれて山を下りました。その他のプログラムも祝され御名を崇めました。



第18回 東関東聖会

# 十字架の主を見上げよう 勇気を出しなさい!

8月5日(月)6日(火)  
成田ビューホテル

千葉教会 田辺岩雄

初日は女性、壮年、青年とCS合同の各例会から開始。女性部会は、「北田てい子師のお証しとグループ別の交わり」、壮年部は「私たちに示されているゴールは?」(聖書から学ぶ)、青年・CSは成田空港等の見学。

夜は聖会Ⅰ講師は若上祝仁先生。説教題は「見よ、世の罪を取り除く神の子羊」。テキストはヨハネの福音書一章29〜39節。

ヨハネが記す福音の原点は、罪を取り除く神の子羊としての主の十字架であり、そのお方との個人的な出会いであった。我々の信仰は、このお方このお方への理解の深さにかかってくる。

どのような中に困難な中にあるうとも、主の十字架が全てを打破してください。我々の実際は様々なものに目が奪われないだろうか。今日、このお方のみを「見る」ことが問われている。

2日目の朝は北田直人師の当務により早天。Ⅰサムエル記二一章



から、逃げざるを得なくなったダビデの原因と、彼を回復なされた主の御業が語られた。

午前の聖会Ⅱ説教題は「わたしはすでに世に勝ちました」。テキストはヨハネの福音書一六章33節。我々は、困難な現実の生活の中で、主が求められる生き方が問われているとの自覚が必要。患難がある中で、「勇気を出しなさい」との主のみことばが与えられている。主は、十字架の前にすでに世に勝ったと宣言された。そのお方をひたすら見上げつつ使命に歩むことが求められている、とのチャレンジがストリートに語られた。

今回のもう一つの恵みは、初日だけでしたが、千葉市の恵泉書房が出版してくださり、参加者の多くが書籍や雑貨等を購入する機会が与えられたことでした。

参加者は、聖会Ⅰ75名、早天43名、聖会Ⅱ63名でした。

### 静岡教区青年大会報告

## テーマは「PEACE」 ～あなたの心は晴れ?くもり? それとも雨?～ 神さまの愛に包まれて

清水教会 清田智子

「あなたは……わたしを愛していますか。」ヨハネ二・15

7月15日(月・祝)、磐田教会を会場に静岡教区青年大会が行われました。講師はWGM宣教師のマツ知子先生、参加者は青年19名、伝道者13名、計32名でした。

今年、沼津シオン・キリスト教会の荻野先生ご夫妻と青年方がご参加くださり、大きな感謝でした。

今大会のテーマは「PEACE」

「あなたの心は晴れ?くもり?それとも雨?」。ゆったりとした空間の中で、神さまの愛に包まれたような一日でした。

オープニングは、講師自らがご準備くださったカナッペと飲み物、ちょっとしたおやつをつまみながら、堅苦しい集会ではなく、さながら講師のホームパーティーに招かれたような温かい雰囲気の中でスタートとなりました。用意された3つのテーブルには、参加教会の人たちが混じるように座り、ゲームによって心が解された



ところでメッセージが語られました。午前はルカ一四・15〜24、午後はヨハネ二一・1〜19からメッセージをいただきました。聖書の世界が、二十一世紀に生きる私たちの目線で開かれ、愛されなくて当然の私たちに對して、イエスさまの愛がどんなに大きいものであるのかを語ってください、イエスさまによって与えられている「PEACE」の中に憩う幸いを覚ええました。

午後のバイブルタイム終了後に質疑応答の時を持ち、青年たちが日頃問題と感じていることを質問し、講師がクリスチャン2世の立場として、また宣教師ならではの世界観で答えてくださいました。お昼はおにぎりを作ってさらに交わりを深め、最後には、恒例のパフェパーティー。心もお腹も満たされました。背後の篤いお祈りから感謝いたします。

### 厚生年金加入問題

## これからアンケートが 届きます 協力をお願いします!

桂町教会 矢木良雄

各地の年金事務所から教会(特に宗教法人格を持つ教会)に対し、高圧的な態度で厚生年金への加入を強制する働きかけがなされました。これに全日本仏教会が声を挙げ、現在は日本宗教連盟が対応にあたっています。昨年2月に厚生労働省年金局専門官と日本宗教連盟幹事による意見交換が行われ、以下のような結論に達しました。

厚生労働省年金局は、宗教法人の特殊性に見合った適用促進の方法が整理されるまでは、現在の加入促進の取り組みを保留するように日本年金機構に指示する。

この取り決めによって、しばらくの間は宗教法人への厚生年金加入の働きかけは行われないことになりました。同時に、宗教法人が厚生年金に加入しないのはなぜか、根底にある問題は何かを明確にするため、宗教法人を対象にしたアンケート調査をすることになりました。この調査内容については日本宗教連盟も関わっています。調査書が届いた時は、ご協力をお願いします。なお、宗教法人の特殊性については秋の教区主事会議でお話ししたいと思います。

国内教会局から

教会建設の務めに  
今日から後のこと

残暑厳しい中、主の御恵みの中を進まれていることと御名を崇めます。秋の気配を少しずつ感じる中ではありますが、各地では秋季の教会会が今月・次月と開催されることと存じます。今秋は特に私たちの群れ



の現状とこれからについて情報や課題を共有し、祈り合う時を聖別して頂きたく願っております。教区の営みや取り組みが目白押しの上で、それでも「よく考える」時を逸してはならないという判断に至っております。預言者ハガイは繰り返し民にそのことを求め、主のみわざに取り掛かるタ

イミングを図るように民を励ましています。主も弟子たちに自然界をお見せになって神さまの無限のない豊かさを想起させなさっています(ルカ二・24・27他)。詳細は9月初頭のBA教区主事会議を経て配信されます。さらなる祝福と結実を期待しつつ、主の語り掛けを待ち望む者です。

(鳶田崇志)

■イエスが使ったアラム語がシリア内戦で消滅も  
主イエスが使っていたとされるアラム語は、紀元後の初期に中東で広まったが、その起源は紀元前10世紀にまで遡る。古代アラム語を起源とする方言は今もトルコやイラク北部など中東各地で使用されている。シリアの首都ダマスカス周辺には、アラム語を話す3つの村がある。その一つ、マアラーラ村は、アラム語で「入り口」を意味する。周辺は、世界最古のキリスト教徒居住地の一つであり、アラム語が2千年以上もの間、使われてきたが、シリア国内にいるアラム語を主に話す人は減り続けており、今では数えるほどしか残っていない。「こうした状況が続けば、アラム語は5・10年以内には消えてしまうだろう」と専門家は指摘。今日、マアラーラの住民の80%はアラム語を話さず、アラム語を話す残りの20%は60歳を超えている。かつてこの村には、宗

「マアラーラのアラム語は、父から息子へと受け継がれる……故郷の言語だ。何物にも代えられない」と教師の一人が語った。

■2年以内に「家庭教会」の根絶  
中国共産党が、今後2年間で全国の「家の教会」(非公認地下教会)を抹殺すること目指し、この取り組みを強化。強制的に教会を閉鎖インターネット上でも「家の教会」を標的にしている。中国における宗教の自由と人権に関するメディアが入手した情報によると、公認の「三自教会」に所属していない、独立した「家の教会」を2年以内に全て排除する計画を中国共産党が立てていると、各省の警察が公言している。4月、湖北省の省都武漢市江岸区にある「家の教会」(信者200人)を江岸区の「民族宗教事務局」が封鎖。聖書と宗教関連の書物100冊以上が押収された。また同地区の教会2か所の集会所も閉鎖された。6月、山東省の省都済南市東方にある「家の教会」が警察の強制捜索を受けた。共産党は別の地域でも追放作戦を実施している。(平瀬聡樹)



海外トピックス

目的、と中国共産党  
中国共産党が、今後2年間で全国の「家の教会」(非公認地下教会)を抹殺すること目指し、この取り組みを強化。強制的に教会を閉鎖インターネット上でも「家の教会」を標的にしている。中国における宗教の自由と人権に関するメディアが入手した情報によると、公認の「三自教会」に所属していない、独立した「家の教会」を2年以内に全て排除する計画を中国共産党が立てていると、各省の警察が公言している。4月、湖北省の省都武漢市江岸区にある「家の教会」(信者200人)を江岸区の「民族宗教事務局」が封鎖。聖書と宗教関連の書物100冊以上が押収された。また同地区の教会2か所の集会所も閉鎖された。6月、山東省の省都済南市東方にある「家の教会」が警察の強制捜索を受けた。共産党は別の地域でも追放作戦を実施している。(平瀬聡樹)

わたしにとって「ベテル」とはどこだろうか、と思い巡らす時があります。■旧満州から松本(長野県)に引揚げられたY女史は、やがて聖潔の器として尊く用いられました。短文の証しですが、『わたしの転機』(日本ホーリネス教団出版部)をたまたま手にする機会に恵まれました。「……わたしは人ひとり通らない郊外のプラタナスの並木道を静かに歩きながら、主との交わりを求めました。」その記述を読んだ時、私はありありとその「並木道」を思い出しました。その時、まだ就学前後の幼児だった私には、その場所は絶対の遊び場だったのです。しかしY先生にとっては、そこは「生ける神に会ったベテル」だったのです。「我其處にて汝等に會ひ汝と語ふべし」(出エジプト二九・42)■また、最近ある施設の式典で、初めてN牧師とお目にかかりました。ご尊父は、リバイバルリーグの活動を川崎・京浜地区で経験されました。戦後、その方は岩手の山深い未開の地に導かれ、福音のビジョンを持って入植されました。その開拓地を見下ろせる小高い丘に「一本松」があり、その元で、



燭台

私のベテルはどこに

志をおなにくする器たちと祈りをささげたのがこの施設の始まりだった、と熱く語られました。「あの一本松の祈りが、リバイバルに繋がりますように。」とのN牧師の謙遜な祈りに、共に心を合わせ、特権が与えられました。ご尊父がいよいよ天に帰られる時、「ホラ、あそこから御使が天に上り下りするのが見えるよ。」と叫ばれたことでした。まさにそこはベテルの地だったのです。■数年前に天に帰られた一聖徒は、書を能くなさいました。「かしこに大路あり」(イザヤ三五・8)と、彼の揮毫された色紙を私は頂戴いたしました。彼は、「路」の意味を興味深く解説してくれました。「偏(へん)を「昇る足」、旁(つくり)を「降りる足」とすれば、これはベテルの梯子(創世記一八・12)として味わうこともできます。昇る偏は、私たちの祈りが天に昇り、降る旁は神さまから祝福を受とめるのです。そして、その大路とは主イエスさまご自身・聖なる路なのです、と。そう語られた聖徒は、曠いの恵みを心から喜びつつ、その輝いた信仰生涯を全うされて天に帰られました。(国光勝美)

第2回 YS-BTCリトリート

「ここに、御国を見た」

主が一人ひとりに触れてくださった

久留米教会 吉村和記

「天国って、こういう感じのところかなと思いました」とリトリート初参加の青年が、最後の全体シエアタイムで証をされました。2日目夜の集いが終わり、恵みの余韻の残るベテルハウス一階ホールで、誰言うともなく楽器を奏で、賛美の輪が広がりました。先の青年はその賛美の横で細川ガラシャを読んでいました！(笑)。なんの束縛もなく、それぞれの形で自由に主をほめたたえ、主のおられるその場所、みんなが微笑みながら時間が流れている。彼は、そこに天国を思ったのかもしれない。

▼主が招かれたお一人ひとり

8月11日(日)～13日(火)、2泊3日で第2回目になるYS・BTCリトリートが、神学院のベテルハウスで行われました。参加者名簿にある22名の顔を今、思い浮かべながら書いていますが、期間中、個人的にお聞きした内容や、公に証しをされた事柄などを考える時、本当に主が招かれた尊いお



一人ひとりだったことを覚え、感謝がふられます。

▼霊的恵みの化学反応

一般公開された2晩の聖会(講師：大兼久先生)と、2日目午前午後のバイブルスタディ(河村院長)は、神さまが参加者の前後、両サイドから包み込むような恵みあふれる内容で、振り返ると、それらが上手くかみ合い、心の内で霊的化学反应を感じたものでした。

\*2晩の聖会では、一人で退くことの大切さと、一人で神さまから恵まれるだけでなく派遣されることの大切さが語られました。\*バイブルスタディは「信仰と科学」「創造論と進化論」「奇跡」とトピックが挙げられ、「信じる」大切さだけでなく、「考える」大切さが強調されました。

▼主が備えられたベテルハウス

時間制限なく、自由に主を賛美し、祈れる場所を主が備え、そこで御国を見せてくださった主に心から感謝します。

国内教会局から

ビジョン2030への  
ご協力をお願い

国内教会局長 岩上祝仁

今月は秋の教区会が開催されます。教区会では2つの議題について意見交換をしていただきます。

第一は、主イエスから私たちに託された使命 宣教・伝道についてです。これは私たちがいつも真剣に取り組んでいることです。だからこそ、もう一度、年会時に宣教研究部の提言を受けて、今の時代に人々に福音のメッセージを届けるために、私たち教会はどのように考えて取り組むのか、ともに折りつつアイデアなどを共有できればと願います。

第二は超高齢化時代に備えるために、教団の組織のあり方も将来に備えたいと考えました。内山代表のリーダーシップのもとで委員会で具体的なことをかなり突っ込んで話し合った結果です。正解があるわけではありません。ただ今後の教団運営にどのようなあり方が良いのか祈りつつ模索し、総会に備えるためのものです。教区会においてこの二つを取り上げてくださいますようお願いいたします。

教区会で意見を集約する必要はありません。理解を深めるため時間を取り、ご意見や質問などがあれば委員会にご連絡をください。

追憶

故勝間田嶋子先生

2019年7月13日ご召天(享年101)



母勝間田嶋子は、大正7年に東京市木挽町で生を受けました。5歳の時、関東大震災に遭い、その後の人生が一変しました。それは、反物の洗い張りをしていた家業が、預かっていた大量の反物の焼失の責任を取らされ、多額の借財を負ったからです。

すでに自立の道を歩き始めて家を離れていた長兄の渡邊倉造が呼び戻され、返済のために家業を継ぎました。働いても働いても減らない借金で心と生活が荒れていた時、1枚のチラシから救われ、仕事に打ち込むようになりました。

次々と救われる家族に反発して福音に背を向けていた母でしたが、兄倉造が墨書して壁に貼っていた「神は愛なり」の聖句が、ある時突然に心に響き、愛なる神様に背を向けていることが罪と示されました。たまたまその日は洗礼式が江戸川で執り行われていたので、その場ですぐに洗礼の恵みに与ったそうです。

昭和17年、日本全体が戦争に突き進む中で献身者生活を送りました。聖教会で献身者生活を送りました。戦後、中国から復員した喜生と結婚し、勝間田家の疎開先だった高津で、教会学校の働きから宣教の働きをスタートしました。

その後、磐田教会、三本木教会、長岡教会と奉仕地は移りましたが、主の助けと各地の兄弟方の温かい励ましで、健康的に弱さを覚えながら、楽しく宣教の働きに携わりました。その生涯を振り返りながら、口癖のように「従う者こそ幸い」と言っていました。様々な試練の中を通りながら、神様を見上げて歩いて来た信仰の証しだったと思います。

晩年は、前述の「神は愛なり」と「わたしの名は不思議という」の聖句を口にしては、不思議な恵みに感動していました。そして、去る7月13日の未明に、愛する主の御許に召されました。(充夫)

巻頭言

時が良くても悪くても



世界宣教局  
梅田 昇



広げた翼

Immanuel  
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

5月に令和の時代が始まり、四月が経過しました。平成とは違う良い時代が到来するのかなと淡い期待を持った人もあるかもしれませんが、現実には多くの課題を抱えた時代であることには変わり

1 みことばの不変性  
みことばは、聖霊の靈感を受けた神のことばです。時代は流れ、人も変化していきます。インマヌエル総合伝道団の指導者も運営形態も大きく変わりました。イザヤが「草はしおれ、花は散る。しかし、私たちの神のことばは永遠に立つ」（イザヤ四〇・8）と述べているように、人々のライフスタイ

使徒パウロは、自分の生涯の終わりが近いことを意識しながら、エペソで労するテモテに遺言的なメッセージを残しています。それは、「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりと祈りなさい」という使信です。  
\*  
ませぬ。

3 信仰者の一貫した使命  
時代がどのように変化したり置かれた環境が悪くなっても、教会と信仰者の使命は変わりません。使徒パウロがテモテに勧告しているように、国内でも宣教地でも「忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、また勧めなさい」という使命に忠実に生きようではありませんか。

2 時代の可変性  
時代は当然ながらどんどんと変化していきます。パウロの生きた時代は信仰者に対する迫害が激しくなっていく時代で、厳しい時代だと言わなければならぬでしょう。今日はグローバル化の時代で、世界中の情報と物が行き来しています。特に大きな戦争が起こっている現状ではありませんが、米中貿易戦争、日韓関係のこじれ、北朝鮮をめぐる各国の足並みの乱れ、ホルムズ海峡における軍事的な緊張が続いています。  
時代は良い時代も悪い時代もありますし、時代を正しく解釈することは簡単ではありません。ただ、我が国が戦前のような軍国主義に舞い戻ることがないように為政者と政治のために信仰者として祈り続けることは大切でしょう。

ルも価値観も伝道法もすべてが変わる中で、私たちは永遠に変わらない神のことばを握りしめて歩む必要があるでしょう。



ZAMBIA

ザンビア

根廻恵子\*2019年7月29日

ザンビアの7月は例年ですと乾燥し、風が吹く寒い季節ですが、今年は去年のような寒さはなく比較的過ごしやすいうように感じます。ただ雨季（10月から3月）に雨量が少なく作物がほとんど育たなかったため、人々は「食べ物がない」と嘆いています。普段、今の時期では乾くことのない川や貯水池は水がなくなり、水不足状態で農家の人々は野菜・家畜を育てることに苦労しています。  
クリニックでは寒い季節の影響で喘息などの患者が多く訪れました。そのような中、喘息の内服薬がクリニックに品切れ状態で、患者は薬局に買いに行かなければなりません。薬局と行っても、最も近い薬局でも約50キロ先にある町にあります。中にはお金がなく買いたいにも行けず、ただ状態を悪くしてクリニックに来るといふケースもありました。産科棟は搬送が何件ありました。月の下旬に区役所から母胎死亡があったこと



連絡を受けました。この女性はジエンボで妊婦健診を始めた方でした。その後具合が悪くなり、実家に帰りました。その後、その地のクリニックに行き、さらに病院搬送され亡くなったようでした。  
10月の日本帰国に向け、クリニックで私が担当している業務の申し送りや処置の指導などを始めています。スタッフが徐々に習得していく姿を見ることができ感謝しています。PWCのカレンボ代表がジエンボ地区会議と聖書学校の卒業式のために7月16・19日にジエンボに訪れました。この機会を利用して、愛の泉献金によって購入してきた溶接機、研磨機、ペンキ、コンテナの窓などクリニックで使用されるものの引き渡し式を行いました。式にはカレンボ代表、ご夫妻、地区代表そしてクリニックスタッフが集まりました。愛の泉献金で購入されたものの紹介をした後、カレンボ代表によってIGMへの感謝が述べられ、祈りがささげられました。

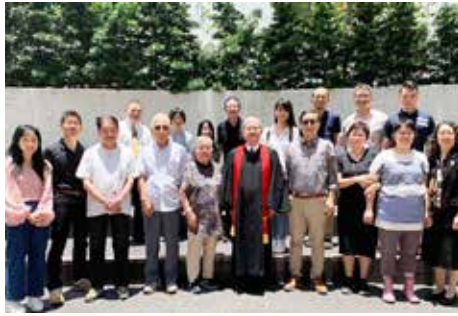


CHINA

香港

鹿島義喜・朱蕙芬\*2019年8月5日

香港イムヌエル教会は、イムヌエル綜合伝道団の一枝として2009年6月7日に初めての礼拝が捧げられました。それから10年の6月2日に創立10年記念礼拝を捧げるところまで進んでくることが許されました(写真)。10周年を記念して記念誌も発行することができ、教団代表と世界宣教局長からもお言葉をいただき励まされました。今年の1月31日には教会として初めての召天者(90歳の創立時からの姉妹)もイエス様の御許にお返しすることが許されました。10年の間には、言い尽くせない色々なことがありました。救われ、受洗者が興されたことは一番の喜びですが、日本への帰国者が増えた時には多くの祈りが捧げられました。自立教会として経済的な戦いも続いています。山の山に備えがあることをいつも経験させていただいております。そのような中、今、捧げている礼拝場



香港イムヌエル教会創立10周年記念礼拝

が借りられなくなりました。6年弱使わせていただきましたが、秋には使えなくなるということで、9月からは、現在地から歩いて15分ぐらいの所にある中華基督教会から会議室をお使いくださいといううれしい申し出があり、場所的にはとても近くて便利なのと、これからの現地の教会との交わりも期待してその線を進んでいます。7月1日に香港は中国返還22年目を迎えました。その前から逃亡犯罪人条例等改正問題を巡る抗議活動がおこり、大陸との関係で根深い問題を抱えています。今もって出口が見えない状況が続いています。1国2制度と言いつつも微妙な内容の変化や28年後の香港の姿を今の若い人たちは描けないで悩んでいます。香港からボーダーを一步越えようと全く違う雰囲気にも驚かされることも多々あります。この地域の平和のため、政治的な安定のために、引き続き覚えてお祈りください。



Global Youth Ministry

グローバル・ユース・ミニストリー

薦田康毅・由理\*2019年8月5日

「すべての国民、部族、民族、言語から、だれも数え切れないほどの大勢の群衆が御座の前と子羊の前に立ち」(黙示録七:9) グローバル・ユース・ミニストリー(GYM)の働きと、私たちがのために祈りをあげてください。GYMは2017年4月に、日本在住の外国の方々(ディアスポラ)への宣教と、その次世代のリーダーを育成することを目的に設立された団体です。 私たちはイムヌエルから「教団外派遣」の形態でこの宣教の働きに派遣されています。GYMと宣教師の必要は有志の賛助会員のサポートで支えられています。国内からの献金と共に、それを上回るサポートが弾圧下のクリスチャンから与えられていることは、驚くべき励ましとチャレンジです。 最初の3か月は、在日外国語教会を幾つか視察し、日本語人として育つ青少年の育成の面で困難に直面している現状を確認しまし

た。 昨年7月より、英語教会である東京ユニオンチャーチの一室をお借りし、毎聖日午後にはバイブルタイムを始めました。毎週約20名の華人と日本人のクリスチャンや求道者が来会され、中国語を補助言語として、讃美と聖書の学び、言語別の分かち合いと交わりを続けてきました。今年6月に、華人クリスチャンに導かれた2人の日本人が救いの経験に導かれ、グローバルな宣教時代が来ていることを実感しています。 10月からバイブルタイムのメンバーを中心にして、日中バイブルの教会をスタートする予定です。予定していたセンターは教会として使用できないため、乃木坂の雑居ビルの中にあるGYMの理事が所有する一室をお借りし、2年目に入る7月から活動場所を移転することができました。 10月から深川教会の御協力のもと、中国語を用いた近隣ディアスポラへの活動を始める予定です。 八月末には、弾圧下の国の子どもたちを迎えて、ホテルハウスでの特別キャンプを持つ予定です。 また、IGMの教会の教会を含めて、華人教会やディアスポラ宣教に関心のある教会からの招きにに応じて、奉仕させて頂く機会も与えられています。 この時代に必要な働きであることを背きつつも、どのような方向、方法で進めてゆけるか、みこころを求めつつ進みたく願っています



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子\*2019年8月9日

「その石で、彼は主の御名によって一つの祭壇を築き、その祭壇の周りに、ニセアの種が入るほどの溝を掘った。」 (1列王記一八:32) 今月で夏休みは終わり、8月から新学年度が始まります。在校生たちが一人も漏れることなく帰って来ること、そして、新入生がたくさん入って来ることを願うばかり、引き続きお祈りください。



りです。

マニラにあるカインタ教会で開かれたウエスレアン教会の全国一斉祈禱会に常喜が出席しました。この日は、年に一度、フィリピンのウエスレアン教会のすべてが、何かしらの形で祈禱会を開きウエスレアン教会に関わる様々なことのために祈りを捧げる日です。教区長ジェイサン先生よりお勧めがあった後、5つのグループに分かれ、5つの部屋をまわり、それぞれの部屋に掲載された祈禱課題にしたがって祈りました。最後は、ランチが振る舞われ、愛餐のときを持ち、解散となりました。このマニラ東教区の祈禱会では約百名の方々が集まりました。

事に宣教師を送り出せるようにと祈りながら、東京に移動しました。後半は東京でイムマヌエルの本部を訪問し、代表を初め総務局長、国内・世界各宣教局長と会談し、イムマヌエルとの宣教協力への感謝、これからの協力確認、またお互いの教団の運営の様子などにも話が及び、あっとい間の2時間ほどでした。温かく迎えてくださった本部の皆さんに心から感謝しました。

また神学院も訪問させて頂き、朝イチの時間でしたが、丁寧に案内してくださった馬場姉と渡辺真理先生、河村院長先生にも心から感謝しました。その後、中目黒教会の祈禱会に参加、さらに在日フィリピン人教会連合の理事の宣教師方とウイクリフ宣教師の福田崇先生との面会もありました。行く先々で良い出会いと良い繋がりが生まれ、帰りの飛行機の中では3人とも心地良い疲労感の中にも充実感があり、これからの働きについて建設的な話し合いをしながらマニラに着きました。日本はちょうど梅雨明け前後の涼しい週で、とても過ごしやすかったです。

恭子が日本に帰国中、常喜と子どもたちは留守番をしていました。学生も夏休みでないということもあり、宣教師館周囲の草が伸び、とりわけ裏の物干し周辺は少し足でかき分けていかなければならない状態になったので、常喜は学校の草刈機で宣教師館の周囲の草刈

をしました。常喜にとって草刈機を使用するのは神学院時代のことです。神学生時代を懐かしみつつ作業に精を出しました。今月も、マニラ日本語キリスト教会(MJCC)での奉仕のため、列王記一八章のカルメル山の出来事から『主こそ神です』と題し、出エジプト記、ヨシユア記、そして主イエスの十字架の出来事と結び合わせ、説教をしました。この日は、昨年受洗された方が日本に帰国されることとなり、礼拝後には、その方の送別会が開かれ、送別会後には愛餐のときもたれました。フィリピンに来て、様々な苦難を通られ、その中で福音に触れ、クリスチャンとなり、日本に帰国されるこの方の信仰が守られるようにみんなで祈って送り出しました。

をしました。常喜にとって草刈機を使用するのは神学院時代のことです。神学生時代を懐かしみつつ作業に精を出しました。今月も、マニラ日本語キリスト教会(MJCC)での奉仕のため、列王記一八章のカルメル山の出来事から『主こそ神です』と題し、出エジプト記、ヨシユア記、そして主イエスの十字架の出来事と結び合わせ、説教をしました。この日は、昨年受洗された方が日本に帰国されることとなり、礼拝後には、その方の送別会が開かれ、送別会後には愛餐のときもたれました。フィリピンに来て、様々な苦難を通られ、その中で福音に触れ、クリスチャンとなり、日本に帰国されるこの方の信仰が守られるようにみんなで祈って送り出しました。

をしました。常喜にとって草刈機を使用するのは神学院時代のことです。神学生時代を懐かしみつつ作業に精を出しました。今月も、マニラ日本語キリスト教会(MJCC)での奉仕のため、列王記一八章のカルメル山の出来事から『主こそ神です』と題し、出エジプト記、ヨシユア記、そして主イエスの十字架の出来事と結び合わせ、説教をしました。この日は、昨年受洗された方が日本に帰国されることとなり、礼拝後には、その方の送別会が開かれ、送別会後には愛餐のときもたれました。フィリピンに来て、様々な苦難を通られ、その中で福音に触れ、クリスチャンとなり、日本に帰国されるこの方の信仰が守られるようにみんなで祈って送り出しました。

をしました。常喜にとって草刈機を使用するのは神学院時代のことです。神学生時代を懐かしみつつ作業に精を出しました。今月も、マニラ日本語キリスト教会(MJCC)での奉仕のため、列王記一八章のカルメル山の出来事から『主こそ神です』と題し、出エジプト記、ヨシユア記、そして主イエスの十字架の出来事と結び合わせ、説教をしました。この日は、昨年受洗された方が日本に帰国されることとなり、礼拝後には、その方の送別会が開かれ、送別会後には愛餐のときもたれました。フィリピンに来て、様々な苦難を通られ、その中で福音に触れ、クリスチャンとなり、日本に帰国されるこの方の信仰が守られるようにみんなで祈って送り出しました。

をしました。常喜にとって草刈機を使用するのは神学院時代のことです。神学生時代を懐かしみつつ作業に精を出しました。今月も、マニラ日本語キリスト教会(MJCC)での奉仕のため、列王記一八章のカルメル山の出来事から『主こそ神です』と題し、出エジプト記、ヨシユア記、そして主イエスの十字架の出来事と結び合わせ、説教をしました。この日は、昨年受洗された方が日本に帰国されることとなり、礼拝後には、その方の送別会が開かれ、送別会後には愛餐のときもたれました。フィリピンに来て、様々な苦難を通られ、その中で福音に触れ、クリスチャンとなり、日本に帰国されるこの方の信仰が守られるようにみんなで祈って送り出しました。

をしました。常喜にとって草刈機を使用するのは神学院時代のことです。神学生時代を懐かしみつつ作業に精を出しました。今月も、マニラ日本語キリスト教会(MJCC)での奉仕のため、列王記一八章のカルメル山の出来事から『主こそ神です』と題し、出エジプト記、ヨシユア記、そして主イエスの十字架の出来事と結び合わせ、説教をしました。この日は、昨年受洗された方が日本に帰国されることとなり、礼拝後には、その方の送別会が開かれ、送別会後には愛餐のときもたれました。フィリピンに来て、様々な苦難を通られ、その中で福音に触れ、クリスチャンとなり、日本に帰国されるこの方の信仰が守られるようにみんなで祈って送り出しました。

◆クリニックが支えられ、主の栄光が現せられるように  
◆健康が支えられるように  
◆カンボジア(眞田縁乃)

◆新しい場所での働きが成長して「弟子となる」ように祈りください  
◆マーク宣教師が8月8日に戻ってこられましたので、再開される働きに結実をお祈りください  
◆ヴァンデイ師の御夫人テス師が働く大学から土・日の働きが要求されたため、大学での働きに終止符を打つことになり、10月から収入源が断たれます。次の門が開かれるまで「イルエの神様」からの御供給をお祈りください。

◆11年目の歩みの中、みことばによる霊的成長が与えられ、新来会者が増えられますように  
◆牧師夫妻の健康が守られ、香港と広州を往復する生活が支えられますように  
◆この地域の平和と政治的な安定が与えられますように  
◆香港と近隣地域での邦人伝道の働きが広げられるとともに、香港の新しい場所での礼拝のため  
◆フィリピン(豊田)

◆新学期が始まった学生たちがサタンからの誘惑、攻撃から守られ、訓練と学びに励むことができるように  
◆月1度のマニラ日本語キリスト教会(MJCC)での働きの祝福のため

◆事故、事件、怪我、過ち、災害から家族が守られますように。子どもたちの学びのため  
◆ケニア(眞田就子)

◆日本宛、ケニア宛の小包が無事届いた感謝  
◆残り1か月間のスワヒリ語の学びが祝福されるように  
◆病院の働き人(ルカーO・2)特に麻酔科医と検査室、整形外科医の必要が満たされるように  
◆台湾(平瀬)

◆初夏を迎え、連日の30度越えの高温超多湿です。出入りと健康が支えられますように  
◆台中教会と台南日本語礼拝に新しい方々、継続して来会する方々が与えられるように  
◆求道中の方々の中から、救われる方が起こされますように  
◆子どもたちの学びと将来の導きのために。(明里は現地高校を卒業しました。勝大は中3受験生です。)

◆極東アジアの複雑な国際情勢の中、台湾の政治や経済、治安が安定を見られるように。来年1月総統選挙  
◆グローバルユースミニストリー(眞田康毅・由理)

◆新しい場所では始められる国際教会(中日画言語共用)の建て上げのために  
◆10月から深川教会との協力で始められるGYMのプログラムの祝福のため  
◆短期で奉仕に来られる重牧師ご夫妻と良い協力ができるように

◆新しい場所では始められる国際教会(中日画言語共用)の建て上げのために  
◆10月から深川教会との協力で始められるGYMのプログラムの祝福のため  
◆短期で奉仕に来られる重牧師ご夫妻と良い協力ができるように

◆新しい場所では始められる国際教会(中日画言語共用)の建て上げのために  
◆10月から深川教会との協力で始められるGYMのプログラムの祝福のため  
◆短期で奉仕に来られる重牧師ご夫妻と良い協力ができるように



# 聖宣神学院報



## Immanuel Bible Training College

### 聖書に書いていないことを

院長 ● 河村 従彦

「しっかり覚えていくなら」

(第一コリント一五・二)

夏に青年にキャンパスを開放するY.S・BTCでは、講師から恵みのメッセージが語られます。しかしY.S・BTCにはもう一つ特徴があります。ガッツリ聖書を学びたいという青年の要望を受けて、2日目のプログラムは、午前9時半から昼食を挟んで午後2時半過ぎまでの3セッション、グループに別れて聖書の学びをします。

今回のテーマは「聖書は書かれていないことを読む」で、最初にこのような質問をしました。「聖書を読んで、知りたいけれど書

かれていないことがありますか」

書いていないことは、書いていないだけに悩んでいて、実は一番知りたいことであつたりします。いろいろ出ましたが、ほとんどのグループで出たのがLGBTのことでした。青年たちはいい加減ではありません。わたしたちが思っている以上に真剣に考えています。

聖書に書いていないことは、聖書の原則を抽出し、自分で適用する必要があります。これを「神学する」(Theologize)といっています。第一コリント一五章一、二節には、人間がどういふパイプで真理を取り込むかが書かれています。受

け入れ(一節)、よく考え(二節)新改訳第三版)、私に現れ(八節)など、信じること、考えること、人格的出会い、この3つくらいにまとめられそうです。

信仰は信じることです。しかし考えることも大切です。なぜなら神さまは人間に考える力を与えてくださったからです。このためものを最大限活用することこそ、信仰的な姿勢なのです。わたしたちはイエスさまと人格的に出会い、信じます。しかしそれだけなら信仰は揺らぎ、教えられるだけならいのちを失います。考えることを怖がらない、自分は何を信じているのかを問う姿勢こそ、信じたことを無駄にしない(二節)信仰的姿勢なのでしょう。自分は牧師として、青年のあの感性に伝えるだけのものがあるだろうか。そのことを反省する時でもありました。



ホテルハウスで持たれたユース・ステーション-BTC

### 神学エッセー

## 福音主義キリスト教の始まり

### ③リバイバル運動と再臨信仰



藤本 満

前回、福音主義の特色として、

①教派神学以上に聖書を重んじる傾向、②個人の回心を重んじる故の十字架の贖罪の強調、③愛の実践、④伝道であると記しました。

②と③は、説教運動としても現れます。ウェスレーやホイットフィールドなどの説教者が巡回し、次々に有能な説教者が生まれ、さらにリバイバルが拡大していきました。

アメリカでは、フランス・アズベリーが西部開拓の村々を回り(ニューイングランドの牧師たちは危険な地域として赴かない)、700名を超える青年に按手礼を授け、メソジストをアメリカ最大の教団に成長させます。

さらに30年経過すると、ケンタッキーやオハイオで第二次大覚醒と呼ばれる大リバイバルが始まります。その卓越した指導者チャールズ・フィニーは長老派の牧師でしたが、ウェスレーのキリスト者の完全に触れ、聖霊のパプテスマの体験をし、それをキャンプミー

ティンダで説きます。

彼の説教には一つの特徴がありました。それが「アピール」と呼ばれる、説教の最後で人びとを恵みの座に招く訴えです。ウェスレーにとつて「恵みの座」とは聖餐を受ける場ですが、ここから福音派特有の招きが始まりました。やがて讚美歌歌手がつくようになり、それがムーディーと共に労したサンキーであり、グラハムに伴われたジョージ・ベバリー・シエーでした。

フィニーのアピールは時として、説教よりも長かったと言われます。様々な証しも折り込み、聴衆の心に訴えました。こうして、聖書の言葉の説き明かし以上に、心に訴え、回心をきよめを重要視するキリスト教と「聖会」が誕生します。

1900年ごろ、ムーディーは英国に何度か伝道に出かけていきます。そこで彼が学んだのは、再臨信仰でした。まもなく苦難の時代がやってきて、それを前に真実なキリスト者が携挙されるといふ考えが、人びとを救いへと駆り立てると考えました。つまり、先のアピールに切迫感が加わりました。

この頃です。こうしたリバイバルから宣教団体が誕生し、盛んに明治初期の日本に宣教師を送ります。また、日本におけるホーリネスの元祖である中田重治は、ムーディー聖書学院に留学し、シカゴでカウマン夫妻と出会い、ホーリネスにアピールと再臨信仰が重なった説教を展開しました。

◆前期の学びを終えて

アメリカで受けた恵み

正規コース 秋田郁美

7月16日から23日まで、アメリカに行ってきました。私の所属する日本フリーメソジスト教団から、理事長を含め7名で北米フリーメソジスト教会の総会にオブザーバーとして参加しました。北米総会は4年に1度開催され、3人のビショップ(監督)が選挙によって選ばれます。1860年にアメリカで始まったフリーメソジスト教会ですが、今回歴史上初めて女性のビショップが誕生したことは大きな出来事でした。

4日間の総会の間毎日朝晩2回の礼拝があり、8名の牧師の説教によって恵まれました。中でも衝撃を受けた一人の牧師のお話を紹介したいと思います。ロスアンゼルス市のフリーメソジスト教会で、都会の貧困層や、ろうあ者へのミニストリーに力を入れている教会のブライアン・ワース師です。ギャング出身で、17歳で終身刑になり、絶望の中で独房に来てくれた牧師から福音を聞き、16年後に出所して牧師になった方です。自身の経験から、主は失われた人を救うだけではなく、救われた人た

ちをご栄光のために用いることができる、ということを主張されています。また、教会成長の分科会でもお話しされ、伝道の方策を立てる前に、主の心を持たなくては行けない、と語られました。「人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。」(ルカ一九・10)のみことばから、主が失われた人を捜して、その人を追いかけて行ったように、私たちも救いを必要としている人たちを捜してその人たちのところに行かなくては行けない、ということを示されました。豊かに見える日本の社会でも、苦しんでいる人たちがいます。そのような人を捜して福音を伝え、弟子訓練する器とさせていただきます。

◆前期の学びを終えて

移り変わりとともに

聴講 藤井佳代子

季節の移り変わりを告げるかのように、夏鷹のさえずりがより切実で美しく聴こえていました。人生の移り変わりにも不安を伴うことが多い中で、主がともにいてくださる平安と希望に賛美いたします。そして皆様の尊いお祈りと励ましのお言葉に感謝いたします。前期を終えて、神様の恵みを感じ

い巡らしました。聖書を読解する際、様々な視点を念頭に、全体の流れと具体的な事柄、問いかけや気づき、前後の文脈からメッセージが見出され、みことばの深みに浸りました。また、学びと人の交流の中で、自分の限られた日本語力と足りない分を英訳で補い、両言語を常に連動させて考慮する日々は、難路でしたが喜びでもありました。日本語と文化に慣れ親しみ、失われていた日本人の心を神様が徐々に形造ってくださいているのかも知れません。皆様と少しでもお近づきになれたような気がして嬉しく思っております。

神学院、教会、そして皆様とともにご一緒させていただいている中で、遅ればせながら想いました。人生で最も求めていたもの、それは、受け入れられて安心できる居場所、主の臨在の中で皆様とともに、この世での旅路を歩ませていただくことでした。今日という日を大切に、御赦しに憩い、恐くても無力な自分を明け渡し、真実にあり続けたいと思いました。日々の営みの中で、どうにもならない悲痛な状況に直面したり、気持ちが悪くなることもあります。しかし、主がともに悲しんでくださり、私達の願いや言葉にならないうめきをとりなし、最善を尽くしてくださいることを心に刻みます。主がともにいてくださる、主の家族の皆様がともにいてくださる恵みに感謝いたします。引き続きよろしくお願いいたします。

聖宣神学院創立七〇周年記念の年に

70周年記念献金への感謝

教団代表 内山 勝

「苦しみゆえの激しい試練の中にあっても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となったのです。」(IIコリント八・2)

この度は、BTC後援会から「聖宣神学院創立70周年記念感謝献金」が呼びかけられ、1年の実施期間を経て、約1900万円をお届けくださったとのこと報告を伺い、奇しい事を行われる神様の御名を心一杯誉め讃えます。併せて、呼び掛けに喜んで応じられた全国の教会と聖徒たちに、主において御礼申し上げます。善きことのためとはいえ、この時代、どの教会にも経済的な戦いがあり、信徒の皆様も経済も困難がおありでしょう。しかし、いつの時代にも、貧しさの中で喜びに溢れて下さる聖徒たちによって教会は支えられてきました。心からの感謝とともに、皆さまに天父の祝福がありますようにお祈りいたします。

70周年記念に寄せられた感謝献金への御礼

神学院院长 河村從彦

後援会は、あるミッション系の大学・神学校の後援会をモデルにスタートしましたが、地区の会合の開催、パイプオルガン献金など、信徒の働きのすばらしさに驚きの連続でした。

この2年で、世話人ネットワーク、ベテルハウス改修、信徒による70周年記念感謝献金の発議など、わたしたちの群れにもこのような恵みが注がれることをだれが予測できたでしょうか。後援会を通して働きに加わってくださった皆さまの信仰と、そして全部が恵みです。モデルにさせていただいた後援会の会長さんが、BTC後援会の働きに驚きを表明されました。恐縮しつつ、神さまの恵みとして遜って伺いました。お献げくださった1円1円の背後に、信仰の祈りと涙の結晶があることはひとときも忘れたことはありません。皆さまの上に恵みが豊かにありますように祈念し、感謝のご挨拶と致します(ピリピ四・18)。

### 私の神学生時代 神の御業を見せられ 18期生 ● 釣 俊栄



神学院という沈丁花の花と香りを思い出します。

今から55年前になりますが入学試験が終わり、朝比奈寛先生、大橋武雄先生の面接も終わり最後に葛田初代院長の時、先生は「もし不合格で入学できない時は家に帰りますか」と言われました。私は思わず「困ります、もうすでに神学院に行きます」といって、神戸を出、荷物もすでに送りましたので、神学院の台所にもおいてくださいました。一生懸命働きます」と答えました。

とばと賛美の朝の集会で一日が始まり、授業は教理、聖書通論、概観、教理、聖化論、教会史など、全部聖書に関する学びで、夜の集会和、世界でこんな素敵な所があるのかと思えました。

その年の9月夏季実習を終えて神学院に帰って来た時、開拓された宮崎教会に婦人牧師の補助として3月まで派遣されました。教団二十周年を迎える前に全県に教会をとというビジョンで多くの教会が開拓され、神学生が各地に派遣されました。教団創立二十周年記念の集会はニコルソン博士、アボット博士のメッセージで大きなきよめの転機となりました。葛田初代院長が務められたピリッグラハム国際大会もありました。

神学院が北浦和から横浜に移転した時は半年近くの冬期実習もありました。

これらの中で、伝道の実践、事を動かす祈りの力、モーセがシナイの山の中で燃える柴を見せられたようにこの時期大いなるものを見せて頂いたと思っています。

3年生になってこの年こそは勉強を頑張るつもりだと思いつつ臨んだ年会の年でしたが、結婚をし山形に任命を受け、そのまま51年になりました。

3年前に主人を天に送りましたが、教団の皆様の祈りを頂き、山形教会の兄弟の支えによって現在なお伝道者として山形市民の皆様にも福音を伝える使命を与えられている事に感謝しています。

### 同窓生の近況

45期生

台湾/台中教会 ● 平瀬義樹



卒業後、主都中央教会に副牧師として赴任しました。中間転任の形で、シンガポールの異文化訓練校での研修の後、台湾に宣教師として派遣され、はや21年が経過しました。時の経過は早く、私の人生の中で一番長く居住した場所は台湾・台中市となっています。

赴任早々2年目の1998年に921台湾中部大震災で被災し、その翌年に長女が与えられ、2004年には長男が与えられました。当初は夫婦2人での宣教の働きが一人、また一人と家族が与えられ、家族をあげての働きに変わりました。それもあって現地の在留邦人や台湾人との交友が一気に広がりました。この間、経済不況や邦人の派遣形態の変遷などで、教会は幾多の危機を経、日本人集会から現地会員を中心とした日本語教会に様変わりしました。2018年5月、月の台南日本語集会が毎週開催の台南日本語礼拝となり、2019年4月、台中教会も新しい場所へ移転しました。新しい宣教の可能性が大きく広がっています(ヨハネ四・35)。

### 神学院スタッフ…恵みの想起

### 紫陽花通りを夢見て

宮繕課 徳竹信雄

神学院のメインストリートに紫陽花で飾ろうとの計画を立てました。今は挿し木で苗木を作っているところです。この間、少し若葉が出てきた茎を引き抜いてみました。根が出たかどうかを確かめるために、もう根がかなり出始めていました。これはうまく行きそうです！ そんな喜びを味わいました。紫陽花通りに次々と献身者を迎える夢を見えています。私の召命のことばは「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、ご自分の収穫のために働き手を送って下さるように祈りなさい。」ですから、素直に、焦らず、忍耐強くありたいと思います。

● 夏期実習中で静かなキャンパスですが、YS・BTC始めいろいろな団体がベテルハウスを利用してくださっています。献別以来、アラムナイ関連団体、他教団、KGKなどからも申込があります。● ベテルハウスご利用の際は、静かな神学教育環境確保のために以下のことに協力ください。(1) 商大グラウンド側のベテルハウス門をご利用ください。(2) 駐車場は神学院の駐車場ではなく、ベテルハウスの駐車場をご利用ください。20台駐車可。● ベテルハウスについてのお問い合わせは学務課・馬場姉まで。● 本館屋根の補修は、夏の間に一部工事が始まりました。● 神学院祈り会は3日(火)です。● 10月のオープン・キャンパスは神学生による自主企画・運営です。宿泊はベテルハウスを利用します。ぜひご参加ください。

### 学苑だより



### サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。7月の会計報告をさせていただきます。

7月分支援実状  
〔今年度毎月献金目標〕  
¥2,000,000

教会員による  
「神学院サポート献金」  
¥1,000,550  
教会団体による「神学院献金」  
¥521,245  
合計 ¥1,521,795  
その他の献金(一時・特別)  
¥18,384,080

・振替：00230-0-10138

# 公報

## 本部通達

「私たちの助けは天地を造られた主の御名にある。」(詩篇一二四篇8節)

酷暑と台風が続いた8月を越えました。今月も台風などの災害に備えつつ、御守りをお祈りいたしましょう。各地で聖会、聖化大会も開催されます。引き続き主の恵みが豊かな時となりますようにお祈りいたします。

### ■本部

《会議》

9日(月)～10日(火)

教団運営委員会(人事委員会)  
会場・聖宣神学院ホテルハウス

《教団謝恩日聖日》

9月15日(日)は教団の謝恩日聖日として定められています。この日を覚え、感謝献金の実施及び厚生資金献金のアピール、厚生委員会の働きの祝福の祈りをお願いいたします。

引退された先生方の日々の生活が祝され、神さまの平安の内に過ごされまますようにお祈りいたしましょう。

### ■国内教会局

《会議》9月2日(月)～3日(火)

BA教区主事会議(BTTC)  
《各地域聖会開催情報9～11月》

《関西聖会》

9月15日(日)～16日(月)  
講師・小川宣嗣師

会場・ピアザ淡海

◇中京聖会

9月15日(日)～16日(月)

講師・荻野倍弘師(シオン基督教団沼津キリスト教会)

会場・小牧勤労センター

◇林間聖会 9月23日(月)

講師・野田禎師 会場・OCC

◇中国聖会 9月23日(月)

(松江) 松江教会

講師・藤本満師

(山口) 山口教会

講師・内山勝師

◇北越聖会 9月23日(月)

(新潟) 会場・長岡教会

講師・佐藤信行師

◇北越聖会 10月22日(火)

(北陸) 会場・金沢教会

講師・若上祝仁師

◇北関東聖会

10月13日(日)～14日(月)

講師・田中進師

会場・ヌエック

◇静岡聖会 10月14日(月)

講師・梅田登志枝師

会場・静岡労政会館

◇沖縄聖会

11月3日(日)～4日(月)

講師・朝比奈悦也師

会場・那覇教会

《9月開催の教区会》

17日(月) 神奈川

23日(月)～24日(火) 静岡

24日(火) 北越

30日(月) 東関東・東京

30日(月)～10月1日(火) 南九州

《JHA関係》

▽16日(月) 宮城聖化大会

講師・田辺寿雄師

会場・日基仙台青葉荘教会

▽23日(月) 山形聖化大会

講師・石田学師

会場・COG大江町キリスト教会

▽10月20日(日)～22日(火)

関東聖化大会

講師・ヒューバート・ハリマン師

会場・インマヌエル中目黒教会

▽10月24日(木) 東海聖化大会

講師・ヒューバート・ハリマン師

会場・CBI(キリスト聖書神学校)

▽10月25日(金) ジョン・ウエス

レーに学ぶ会

講師・ヒューバート・ハリマン師

会場・ナザレン教団大阪桃谷教会

▽10月27日(日) 岡山聖化大会

講師・ヒューバート・ハリマン師

会場・日本イエス香登教会

▽10月29日(火) 九州聖化大会

講師・ヒューバート・ハリマン師

会場・基督兄弟団福岡教会

《世界宣教局

《会議》

24日(火)

世界宣教局運営委員会・局員会

▽ザンビア宣教訪問団(9名)は

9月5日に帰国です。

▽香港(鹿島義喜・理香宣教師)

では、9月からの集会場の移転先

が決められました。なお、治安のため

お祈りください。

▽宣教師巡回予定(申し込みは葛

田敬子師まで)

\*根廻恵子宣教師(ザンビア)

2019年11月～2020年6月

第2週。

\*豊田常喜、恭子宣教師(フィリ

ピン) 2020年5月～8月初め。

▽協力関係にあるOMF日本委員

会では新総主事(佐味湖幸師)の

就任式が9月2日にOCCをで行

われます。祝福を祈りましょう。

《教育局

《青少年部・青年課》

夏の間持たれた第12回中高生  
とにキャンやユースミッション、  
その他、各地域聖会での青年部集  
会、YS・BTTCなど、青年対象  
プログラムに参加された方々の祝  
福のために、また9月に予定され  
ている5つの地域聖会の青年部集  
会や1箇所の青年大会の祝福のた  
めに、引き続きお祈りをお願いい  
たします。

◇九州地区青年大会

日程：9月15日(日)～16日(月)

会場・国立夜須高層青少年自然の家

講師・松尾献師(KG九州地区

主事)

テーマ「GU、キリストにある自

由を着こなそう」

《聖宣神学院

▽夏期実習は後期に入ります(9

月2日～29日。カッコ内は任地)

・峯尾仰生兄(大宮・狭山)

・石川順兄(東京フリーメソジス

ト桜ヶ丘)

・田中利通兄(東風平)

▽秋の入学審査は9月2日(月)、

お祈りください。

▽信徒土曜講座の申込は今からで

も可能です。

テーマ「教会学校について考え

る」(若上祝仁先生、内山勝先生、

戸塚雅昭先生)

10月5日開講・4回コース

▽神学院祈り会は9月3日(火)

午後6時。奨励は内山勝先生です。

▽オープン・キャンパス 10月18

日(金)午後から19日(土)昼まで。

案内チラシは間もなく送付。今か

ら参加をご予定ください。

▽BTCリトリート 12月29日

(日)夜～31日(火)に行います。

▽ホテルハウスについてのお問

合わせ・お申込みは学務課・馬場

姉まで。

▽ホテルハウスご利用の方は、静

かな神学教育環境確保のため、次

のことにご協力ください。

(1)キャンパス内は通行できません。

商大側のホテルハウス門からお入

りください。

(2)駐車はホテルハウスの駐車場を

ご利用ください。20台駐車可です。

《出版事業部

《会議》

6日(金)

出版事業部全体会(本部)

# 消息報告



▼長崎教会では新会堂建設が進行  
中です。近隣のカトリック教会で  
日曜礼拝が継続されています。御  
守りをお祈りいたしましょう。

▼名古屋教会では9月末の新会堂  
引き渡しに向け建設が進んでいま  
す。完成まで主の守りをお祈りい  
たしましょう。

教報PDFパスワード#2644

新宣教団 定価 一部〇〇円(税込)

郵便振替 001107133609

発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣

発行所 東京都千代田区神田駿河台一

OCCビル イムマヌエル綜合伝道団本部